



# ぼらナビ

沖縄市社会福祉協議会  
ボランティアセンター  
〒904-0003  
沖縄市住吉1-14-29  
TEL098-937-3385  
FAX098-937-3422  
e-cube オンラインセンター.com  
社会福祉法人 沖縄市社会福祉協議会

## 小地域ネットワーク事業 ～ 連絡学習会 ～



● 沖縄市内で、地域での福祉ネットワーク活動取り組んでいる自治会の「連絡学習会」が2月17日に武道館にて開催し、65名の参加がありました。今回は「福祉連絡会での個人情報の取扱いについて」として、中村吏氏（沖縄市総務部総務課情報公開担当主幹）に講話をいただきました。規定作成に向けての取り組みの大切さをお話ししていただきました。

### 今回の「個人情報の取扱い」のポイント！

- ①「個人情報の保護に関する法律」は、自治会や各種団体など、全ての事業者に適用されていて、規定を作る必要があります。
- ②個人情報を漏えいし、損害賠償請求（裁判）が行われた事例もあります。
- ③個人情報の保護は、身近な問題として認識されていて、トラブルも発生しています。
- ④福祉連絡会には、様々な関係機関や団体が参加していますが、それぞれの職務、立場に適用される個人情報の取扱いに関する関係法令に基づいて、参加する必要があります。例えば、民生委員児童委員は、民生委員法・児童福祉法に基づく守秘義務と沖縄県個人情報保護条例に基づく取扱い。地域包括支援センターは、沖縄市個人情報保護条例に基づく守秘義務など。つまり適用される法律が違うという事です。
- ⑤個人情報を管理するためには管理者を決め

る必要があり、福祉連絡会の代表者などが管理者となることが考えられます。

⑥秘密保持義務はとても大事です、福祉連絡会参加者が、福祉連絡会の活動で知りえた個人情報を、関係のない他人に話したりしないこと、秘密であろうがなかろうが、漏らしてはいけないことになっています。

⑦利用目的を明確にしなければなりません。例として、安否確認のための見守り活動、見守り担当区域図の作成のための活動、要支援者（親族、同居人を含む）の把握、災害等の緊急時における支援活動、災害時に備えた要支援者（親族、同居人を含む）との日頃からの関係づくり、福祉連絡会活動に必要な活動、災害時要支援者支援体制整備業務の実施に必要な活動など

⑧福祉連絡会参加者からは「個人情報保護の誓約書」を取ることが望まれます。

⑨（提案として）福祉連絡会を開会する前に、進行役の方が、目的と守秘義務の確認のために、必ず毎回話しをしてから開催。

『この会議は、自治会を中心とした住民参加型の小地域ネットワーク事業を展開することにより、誰もが安心して生活できるような福祉のまちづくりを進めることを目的とします。現状の行政サービスや福祉サービスだけでは解決できないような事案について、情報や意見交換を行い、今後の連携や支援体制を検討していきましょう。なお、個人情報の取扱いについては、十分注意をはらって発言を行って下さい。また、この会議で知り得た個人情報をみだりに漏らしたり、目的外に利用したりしないよう求めます。それでは、会議をはじめます』

⑩慎重になりすぎて目的が失われないよう、「必要最小限」ではなく、「必要不可欠」な情報を共有できるよう取り組んで下さい。

# 中部電気工事業協同組合より 子ども支援団体へ寄付☆☆



● 中部電気工業協同組合より、沖縄市内の子ども支援団体へ寄付金の贈呈式が2月19日に行われ、子どもフードバンク沖縄、美ら団子、夢空間たんぽぽ、住吉国際ジュニア倶楽部、くじら寺子屋の5団体へ贈呈されました。大城政明（中部電協理事長）からは、「各加盟事業所からの協力により実施ができました。沖縄市の子どもたちの未来のために活用してしてください」とあいさつされました。贈呈を受けた団体からは、「とてもうれしいです。大切に活用させていただきます」「涙が出ます。とてもうれしいです。地域の企業のみなさまの協力がとてもありがたいです」「運営が厳しい状況の中、このような支援はとてもありがたい」などのお礼の言葉がありました。中部電協は、他にも組合の活動として、社会貢献自動販売機の設置や、毎年8月に実施される電気使用安全月間での高齢者世帯でのボランティア活動などを行っていて、社会貢献活動に積極的に取り組んでいます。

# 自主防災組織の取り組み



泡瀬自治会



宮里・東・仲原



古謝自治会



比屋根自治会



泡瀬第2自治会

● 各自治会の自主防災組織による「防災訓練・避難訓練」が、それぞれに工夫を凝らして、多くの区民や関係者が参加して実施されました。